

看護師連携研修会 (H24.6.28) アンケート集計結果

【参加者】 71名 (荘内病院看護師32名、宮原病院2名、湯田川病院2名、協立病院1名、
斎藤胃腸クリニック1名、ハローナース3名、きずな2名、包括・居宅支援センター28名参加)
アンケート協力者66名 (92.9%)

【年齢】

20代	30代	40代	50代	60代	記載なし	計
1	14	23	26	1	1	66

【性別】

男性	女性	記載なし	計
1	64	1	66

【職種】

看護師	ケアマネ	看護師/ケアマネ	その他	記載なし	計
43	19	1	1	2	66

【勤務場所】

病院	診療所	訪問看護ステーション	居宅介護支援事業所	地域包括支援センター	その他	記載なし	計
35	1	5	17	3	1	4	66

【内容について興味のあるものでしたか】

全く興味がなかった	あまり興味がなかった	少し興味があった	興味があった	とても興味があった	計
0	1	9	34	22	66

【看護をしていく上で役立ちますか】

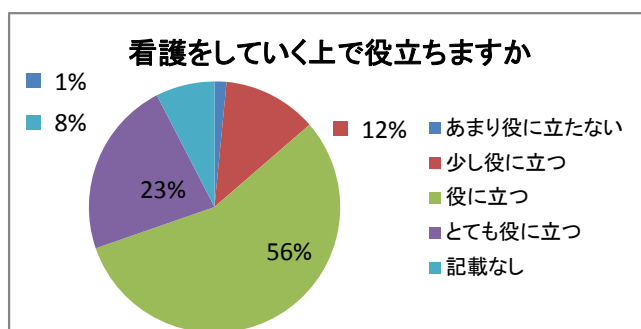
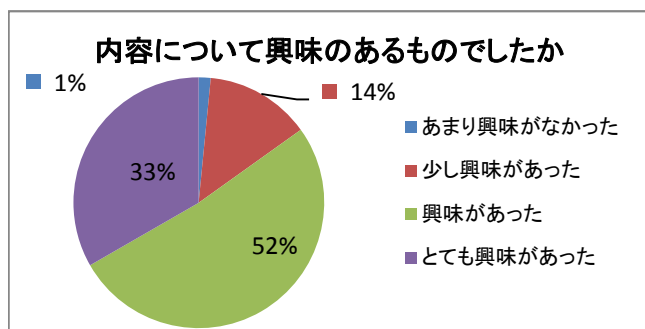
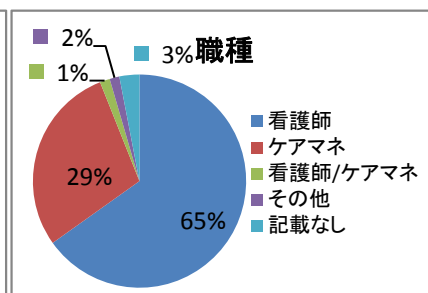
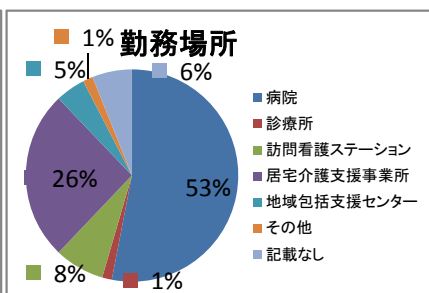
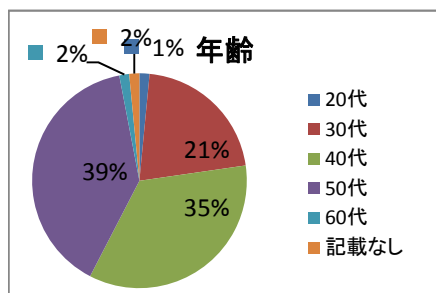
役に立たない	あまり役に立たない	少し役に立つ	役に立つ	とても役に立つ	記載なし	計
0	1	8	37	15	5	66

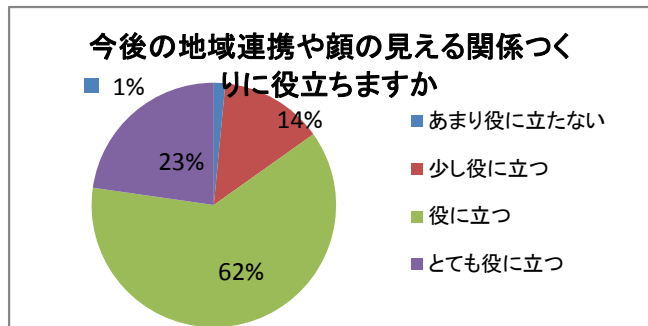
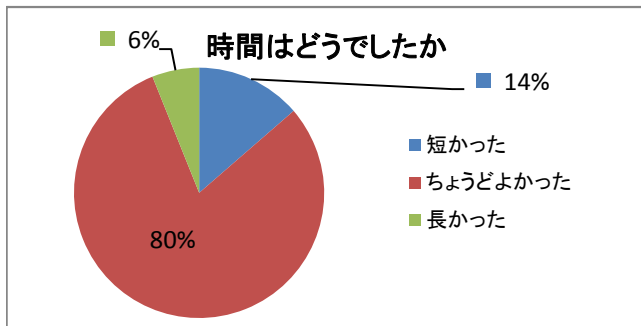
【時間はどうでしたか】

短かった	ちょうどよかった	長かった	計
9	53	4	66

【今後の地域連携や顔の見える関係づくりに役立ちますか】

役に立たない	あまり役に立たない	少し役に立つ	役に立つ	とても役に立つ	計
0	1	9	41	15	66





【ご意見・ご感想】

- ・ 在宅するにあたり必要な費用の概要。
- ・ 退院に向けてのハローナースの関わりを早期にするなど他施設の取り組みを聞くことができた。
転院先の必要な情報(病識・家族の思いetc)を知ることができ、参考になった。
- ・ 情報の共有→必要なことを選択し、大切に連携図り、効果的に利用できるよう今後も心がけたいと思う。
- ・ 一つ一つのテーマが大きすぎる。テーマを研修資料の1,2ではなく①②のテーマにして話し合った方が良かったのではないかと。たとえば今回は1.患者家族の今後の療養に関する以降の確認として①～⑤のグループにわかれてグループワークをする。次回は2.といったように回数をかさねていけるようにしたほうがいいのではないかと。
- ・ (取り上げてほしい内容)PEG造設にあたっての医療者、家族の反応。
受ける側、送る側とが共有できる情報提供が必要と思う。
- ・ グループに訪問看護師さんがいなかったのも、実際に居宅しているの観察・ケア・処置で困っていることを聞くことができず残念でした。
- ・ お互いの役割の中で、認識のズレや不足していることを把握することができて良かった。退院支援がより良くスムーズにできるようにしたい。
- ・ いろいろなテーマでの話し合いで、各グループの発表をきくことができ勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 知りたいことを聞くことができました。
- ・ ドクターとの連携をお願いしたい。
- ・ 始めて参加しました。退院支援調整リンクとして、安心して退院をむかえることができるようかかわっていきたくと思いました。
- ・ 病院・居宅も一緒に話ができとても良かった。
- ・ 病院からのサマリでよいこと、不足していること。
- ・ 事前に検討内容が分かれば、短時間でも中身の濃い話し合いができると思います。
- ・ 大変良い研修でした。また同シリーズの研修をお願いしたいです。せつかなので、庄内プロジェクトHPにある、医療連携シートを持参すれば良かったと思いました。サマリ・入院前情報の欠点・使いづらさをお互いに感じているので、現物を持つての研修をお願いしたいです。ケアマネの動きをわからないこともわかりました。
- ・ 病院と在宅での看護連携には、ケアマネジャーの存在が重要であると思うので、このような研修会に居宅介護支援事業所・包括支援センターの参加を呼びかけていただきたいと思います。